



ポラリス(北極星)を目指すには北極星を見分けること。目指すところ(方向)は一緒でもやり方はそれぞれ多種多様。一人一人の思いをエッセイの形で伝えたい。

ときめき Beating Kashima 鹿島



新年のご挨拶

常務理事・事務部長 正木 和生



新年おめでとうございます。今年も皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈りいたします。

さて、昨年末を以て23年の長きにわたりお勤めいただいた田野副院長がご退職なさいました。先生は回復期病棟の立ち上げに関わられ、鹿島病院にリハビリテーションの種を蒔き、芽を育てられ、今ではその芽が大きな幹となり、病院を支える看板病棟となりました。

この場をお借りして、先生のこれまでの功績に感謝するとともに今後のご健勝とご多幸をお祈り申し上げる次第です。

話は変わりますが、今年2025年は、鹿島病院の中期ビジョンを策定する年にあたります。これから病院はどうあるべきかを考え、新たな種を蒔き、その芽を育てて行くことを考えなければなりません。

それから今年は電子カルテの更新という大作業も待っています。実に19年ぶりの基幹システムの更新であり、これにより業務の省力化・効率化が進むものと期待しています。

ということで、何かと忙しい年になりそうですが、2025年は「変革の良い機会」と前向きに捉え、考えて行動することで実りある一年としたいものです。



今年の抱負

50音順



看護部 井上 翔太



今年、長女が柔道を習い始めました。それに伴い自分も柔道を再開し、指導者みたいな事をしています。今年、柔道指導者資格をきちんと取得しようと思います。鹿島中学校の武道館で水・金で行っていますのでやってみたい方はみに来て下さい。時間は18時半から開始します。

診療部 江角 勝利



あけましておめでとうございます。いつのまにかこの年になってしまったというのが正直な感想です。実年齢を受け入れながら、柔軟な対応を心がけて物事に取り組みたいと思います。今年もよろしくお願いします。

看護部 川島 友紀子



新年あけましておめでとうございます。入職してあっという間に10年が経ちました。初心を忘れず、努めていきたいといいます。毎日が慌ただしく、昨年は不調が続き今年健康に気を付けて充実した1年だったと思える年にしたいと思います。本年もよろしく願いいたします。

看護部 神門 政史



今年の抱負は、健康を優先し健診で注意が必要とされた事の改善を意識した生活を送る事。栄養バランスの良い食事や運動を心がけ、日々のケアで将来の健康を守っていきたい。生活習慣を改善し健康的に業務に従事していきたいです。

在宅サービス部 寺本 美智子



あけましておめでとうございます。昨年はバタバタと変動の年でした。今年は心穏やかに過ごしたいです。身体を労わりながら、感謝の気持ち忘れず、頑張りたいと思います。今年もよろしく願いします。

在宅サービス部 原 真理



ご利用者様の介護計画を作成させていただく中、ふと、自分の目標は何だろうと疑問に感じ、3年前から、年初めに1年の目標を立て実行するようにしています。今年も健康、趣味に充実した一年になるように頑張ります。

看護部 廣江 康人



鹿島病院に再入職して2年が経ちました。去年は仕事を覚えることで必死になり、休みの日は家でポーンとしたり畑で土いじりを少しやったりし、本来の趣味を全くやっていなかったことに気が付き、今年は休みの日は趣味活動をエンジョイしたいと思っています。私の趣味はまず釣りです。春になると大きなアオリイカを求め近場の漁港や地磯、あまり人がいかないような所を目指して徘徊します。秋になると型は小さくなりますが数が釣れて来るので、家に持ち帰ると家族に喜んで貰え自分のお酒のつまみに最高です。次の趣味が車いじり（維持り）です。20代の頃は車のパーツを買ってはクラブの仲間と一緒に構っていましたが、今は維持することが一生懸命になっています。なんせ20年以上前の車なので壊れそうなパーツを早めに交換し長く乗る事がエコに繋がると思っています。後はキャンプも好きです。ここ数年キャンプも行っていないので今年はデイキャンプからリハビリを始め、季節が良くなったら釣りキャンプに行きたいと思っています。

診療部 藤井 瑞江

明けましておめでとございます。入職して今年で6年目になりました。入職時より出来ることが増えたと実感する一方で、まだまだ努力が必要だと感じます。今年のご目標としては、患者様に満足度の高い食事を提供出来る様に常に向上心を持って仕事に取り組みたいと思います。新しい年もどうぞよろしくお願い致します。



看護部 藤井 由佳

新年明けましておめでとございます。今年のご目標は「初心に戻る事」です。何事も慣れてしまうと色々な事が雑になってしまうので1つ1つ気を付けていきたいと思っています。今年もよろしくお願い致します。



リハビリテーション部 藤原 法文

あけましておめでとございます。入職して2度目の年男を迎えました。1度目の頃は「もう一回り離れた人が働くようになったんだー!」と職員から言われたことを覚えています。今では自分がその立場…。同じことを思う今日この頃です。12年の中で生活も変化しましたが、『初心忘るべからず』という言葉の通り、驕る事なく、健康に気をつけながら頑張っていきたいと思っています。今年もよろしくお願い致します。



看護部 松本 兼介

お陰様で、鹿島病院で介護士として働き始めて4年目を迎えます。介護の道に進んでから早15年、不惑の年を越えても、なお迷ってばかりの毎日ですが、日々勉強を重ね、少しでも患者さまに喜んで頂けるよう精進したいと思っています。感謝。



リハビリテーション部 丸谷 裕子

あけましておめでとございます。今までは病棟勤務でしたが通所リハビリに異動となり新たな場所、新たな気持で頑張ろうと思っています。よろしくお願い致します。



診療部 丸谷 龍馬

あけましておめでとございます。年男となり、月日はあっという間二ヨロっと過ぎていくものだと感じますが、特にみ(日)がまえることをなく、自然体で笑顔が沢山(ハッピー)な素敵な一年にしたいです。



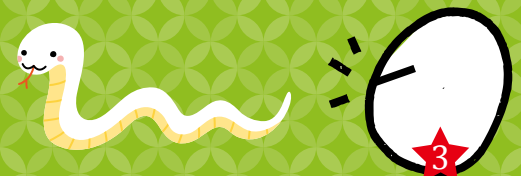
看護部 三原 洋子

新年明けましておめでとございます。今年のご抱負は、去年に引き続き健康に気をつけ、少しでも患者様のお力になりたいと思っています。また、ワークライフバランスを意識しつつ、自分自身の今後のライフワークに繋がるような趣味を見つけていきたいと考えています。そのために、様々な経験を積極的にしていきたいと思っています。本年もよろしくお願い致します。(ヤッホー)



看護部 山本 由実

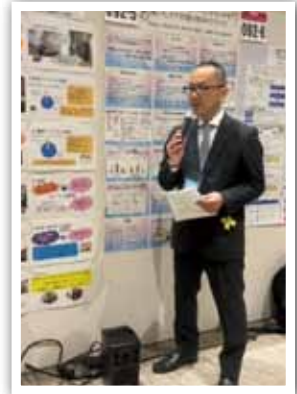
患者さんのニーズにより的確に応えられるよう、臨床スキルと知識を更に深めたいです。また、チームとの連携を大切に、円滑で効率的な質の高いケアを提供できるよう努めていきます。自己成長続け信頼される看護師を目指します。



第32回 日本慢性期医療学会に

看護部 井谷 祥久

コロナ禍で外部との関わりを制限されている患者様に、ストレス軽減やホッとできる場を提供したいという思いで「気軽に、無理なく、楽しく」を念頭にR5年6月から病棟で行っている「回復カフェ」の紹介をしました。学会は2日間行われ、どの発表をみても全国の医療福祉現場で働く人の熱い思いが伝わり、自分自身にもとても良い刺激になりました。今日からの日々の業務に活かしていきたいと思います。



研 修 医 地 域 医 療 研 修 を 終 え て

松江市立病院 研修医 葛尾 佑美

地域医療研修で一ヶ月間お世話になりました。あっという間の一ヶ月間でしたが、たくさんの学びを得ることができました。

特に心に残った学びは、入院時に現状や目標を患者さんとそのご家族、他職種で共有することで適切な治療やケアを行うことができるということです。様々なカンファレンスに

参加させていただきましたが、なかでも入院時のカンファレンスは印象的でした。それぞれの職種の目線から入院時の評価や入院中の治療計画が行われ、それらが入院時のカンファレンスで共有されるまでが非常にすみやかであることに驚きました。入院時のカンファレンスで他職種での認識を統一することで、それが患者さんやそのご家族とも同じ方向を向き足並みを揃えて治療、療養を進めていくことに繋がっているように感じました。

また、訪問診療や訪問看護、施設外リハビリ、居宅支援などに同行させていただきました。患者さんの日常生活に寄り添った関わりができることにとても興味が湧きました。

主に担う医療機能によって病院毎に役割が異なる点もありますが、今後医師として働く病院がもつ医療機能に関わらず活かせるような学びのある研修をさせていただいたことに感謝しています。指導医の先生方をはじめスタッフの皆様、本当にありがとうございました。



参加して 11月14・15日 パシフィコ横浜

看護部 今田 直志

様々な演題の中で個人的なキーワードとしていたのが「人材」です。

人材確保や人材育成に関して、現場レベルで活かせる内容が多く、個人的な学びとして、とても有意義な時間でした。また、現在の課題等も明確になり、今後の介護課としての活動や、自分自身の目標設定につながる研修となりました。

看護部 高木 馨斗

後期高齢者が増加している中で、慢性期医療の重要性を実感できた研修でした。また、病院の形態のシフトチェンジを行って、対応している例もありました。状況に応じた行動が求められていると感じました。ご挨拶にもありましたが、良質なケアを提供することが大事であるため、チーム医療として、高みを目指していけたらいいなと思います。

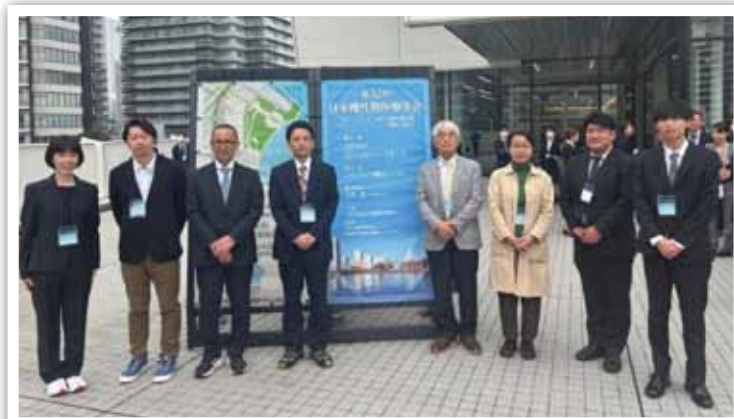
在宅サービス部 板垣 陽介

昨年度開催された院内研究大会の上位を取った、在宅サービス部と回復期病棟から2題の演題発表を行い、各部所から数名参加をしました。

会場が非常に大きく、シンポジウムや全国から約650題以上の演題発表が行われました。演題はポスター発表という形式が主で、学会の間は各会場にポスター演題が貼られたままとなるため、演者の口頭発表を待たずに多くの演題を閲覧することが可能でした。各病院や施設のさまざまな取り組みが業務の参考になるだけでなく、研究自体の取り組み方の勉強にもなりました。発表は2題ともに無事やり遂げ、会場から質問もいただき鹿島病院の取り組みの一部をしっかりとアピールできたと思いま

す。私自身もこのような大きな研修会の参加や発表は久しぶりで、貴重な刺激を受けさせていただきました。

全国大会レベルの研修に参加することは、職場や個人が成長する大きな機会となるので、院内研究大会で上位を目指して参加できるよう頑張りましょう。



病院と社会(1)

医療相談部 社会福祉士 小林 裕恵

今回から数回にわたり、ここ数十年にわたる病院の変化を社会の移り変わりの中で考えていこうと思います。今回はまず、1980年から2020年の間に世の中がどう変わってきたのかを見ていきます。表にはこの間のさまざまな指標の値の変化が示されています。

ここ40年の間に、日本の人口はいったん最大になりそのあと減少傾向になっています。この間、日本社会の平均年齢は15歳程度高まっており、65歳以上の高齢者が顕著に増大しています。老年化指数(65歳人口÷0~14歳人口×100)は40から240へと恐ろしいほど高くなりました。平均寿命は男女とも10歳弱伸び、百歳以上の人口はなんと83倍になっています。

若い世代に目を向けると、初婚年齢が3~4歳高くなっていることがわかります。それに対応して第1子平均出産年齢もかつてより4歳高い30歳になっています。婚姻関係にある夫婦の子どもの数の平均(完結出生児数)は2人程度であり変わっていませんが、女性1人当たりの生涯にわたる出生数(合計特殊出生率)は1.75から1.33へ減少しています。これは結婚をしない男女の増加に由来することです。50歳時における結婚未経験者は1980年段階では男性3%、女性5%未満でしたが、今

や男性で28%、女性で18%と大幅に増大しています。結婚率と離婚率はそれぞれ人口千人当たりの1年間の結婚件数、離婚件数を表しますが、表には「離婚率÷結婚率」が示されています。この値もここ40年、かなりの増大傾向にあったことがわかります。

三世代家族等を含む拡大家族は、ここ40年で20%から7%まで減少しました。夫婦と子どもからなる核家族は50%~60%で推移していますが、1人世帯(単独世帯)は20%から38%へと倍近くになっています。この単独世帯の増加には、未婚の若者の世帯と高齢単独世帯が関連しています。

1980年段階では高齢者の70%は自分の子どもたちと生活していました。2020年ではその割合は40%弱です。増えているのは夫婦のみの世帯と単独世帯です。施設等で生活する人も増えていますが、増え方が一番大きいのは単独世帯(2.29倍)です。

表には追加的に(1)自営業者の減少と雇用者の増大(2)雇用者世帯の中での専業主婦世帯の減少と共働き世帯の増大、(3)雇用者に占める正規職員の減少と非正規職員の増大を示すデータもあげておきました。これらから推測できるのは、世帯での生活における時間的、労力的な余裕の減少です。世帯内での高齢者のケアがだんだん難しくなっている原因はこのあたりにあるのかもしれない。

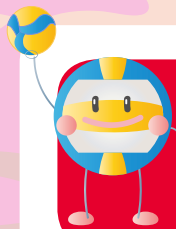
表 1980年～2020年の社会の変化

	1980年	2000年	2020年
人口（注1）	117,060	126,926	126,146
人口割合（0～14歳）	23.5	14.6	11.9
人口割合（15～64歳）	67.4	68.1	59.5
人口割合（65歳以上）	9.1	17.4	28.6
平均年齢	33.9	41.4	47.6
老年化指数	38.7	119.1	239.7
平均寿命（男）	73.4	77.7	81.6
平均寿命（女）	78.8	84.6	87.7
百歳以上人口	968	13,036	80,450
初婚年齢（男）	27.8	28.8	31.0
初婚年齢（女）	25.2	27.0	29.4
第1子平均出生年齢	26.1	28.0	30.3
完結出生児数（注2）	2.23	2.23	1.94
合計特殊出生率	1.75	1.36	1.33
50歳時未婚割合（男）	2.60	12.57	28.25
50歳時未婚割合（女）	4.45	5.82	17.81
離婚率/婚姻率	0.18	0.33	0.37
世帯類型（拡大家族）	19.7	13.6	6.8
世帯類型（核家族）	60.3	58.4	54.1
世帯類型（単独世帯）	19.8	27.6	38.0
65歳以上の住む世帯（子ども等と同居）	69.8	50.5	38.2
65歳以上の住む世帯（夫婦のみ）	18.1	30.9	35.9
65歳以上の住む世帯（単独）	8.3	13.8	19.0
65歳以上の住む世帯（施設等）	3.6	4.7	6.3
授業上の地位割合（雇用者）	71.2	83.0	88.8
授業上の地位割合（自営業主+家族従事者）	28.7	17.0	11.2
専業主婦世帯（雇用者世帯内）	64.5	49.3	31.5
共働き世帯（雇用者世帯内）	35.5	50.7	68.5
雇用形態（正規）（注3）	84.7	74.0	62.9
雇用形態（非正規）（注3）	15.3	26.0	37.1

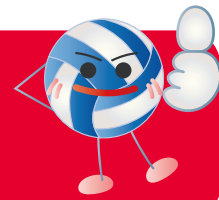
（注1：単位千人、注2：1982/1992/1995年、注3：1984年/2000年/2020年）

出典：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2024版）」「第15回出生動向基本調査（2015）結果報告書」、労働政策研究・研修機構「早わかり グラフで見る長期労働統計（2024）」





第87回島根県病院対抗 バレーボール大会に出場しました



リハビリテーション部 藤原 法文

令和6年11月25日(土)島根県立浜山体育館(カミアリーナ)で開催された第87回島根県病院対抗バレーボール大会に出場しました。県内から男子12チーム、女子9チームが参加し熱戦が繰り広げられました。当院からも毎年男子・女子チームが参加し、昨年は男女とも3位になっていましたが、今年はメンバーが揃わず、男子の部に男女ミックスチームでの参加となりました。毎月のサークル活動や時々の飲みニケーションをしており、持ち前のチームワークで1試合目の接戦を勝利しました。そのままの勢いで全勝し、決勝トーナメント進出しました。準決勝では惜しくも敗退しましたが、好ゲームで全力を出し切ることが出来ました。来年はメンバーを揃えて、更なる上を目指して頑張ります。



毎月ゆる〜くサークル活動をしていますので、経験者・未経験者問わず興味がある方はご参加をお待ちしています。

試合結果

予選 VS 松江市立病院 2-1 勝利
 VS 加藤病院 2-0 勝利 決勝トーナメント進出

準決勝 VS 雲南市立病院 0-2 敗退

☆3位



鹿島町民文化祭

2024年
10月26日



リハビリテーション部 松本 宏太郎
 曾田 良平

当院のリハビリテーション部から2名が参加させていただきました。

健康コーナーを担当させていただき、推進隊・保健師・地元中学生の方々と共に来場者様の骨密度、握力、足趾力、立ち上がりなどの測定を行いました。当日は晴天に恵まれて多くの方の参加があり、日ごろ行わない測定項目についても関心を持ってもらう事が出来ました。



私達は日頃、入院中の患者様と関わる事がほとんどですが、社会生活の中でもそれぞれ不調や悩みをお持ちであり、今回のような催しで専門職としての学びも多くあります。微力ですが今後とも鹿島地域の健康に少しでも貢献できれば幸いです。



新入職員を紹介いたします

50音順

- ①部署・職種 ②趣味・特技は何ですか？
- ③好きなもの・好きなことを教えてください。
- ④一言ご挨拶をお願いします。

井原 奈津美



- ①2階病棟・看護師
- ②ショッピング・ドライブ
- ③焼肉を食べること
- ④病棟での勤務は久しぶりなので、一日も早く業務に慣れ、患者様・ご家族様に合ったケアができるよう頑張ります。よろしくお願いします。

菅井 楓



- ①4階病棟・介護福祉士
- ②ダイヤモンドアート 御朱印集め
- ③アニメをみること ショッピングをすること
- ④病棟での勤務は初めてですが1日でも早く仕事に慣れることができよう頑張ります。よろしくお願いします。

高井 伸



- ①栄養課・調理師
- ②読書 ③映画鑑賞
- ④患者様のために安心・安全なお食事を提供いたします。一日でも早く仕事に慣れるよう頑張ります。よろしくお願いします。

引野 敏朗



- ①リハビリテーション科・理学療法士
- ②特技はドラムです。(下手ですが...)
- ③趣味はアニメ・ドラマやお笑い鑑賞です。
- ④愛猫2匹・Official髭男dism
- ⑤ご覧の通りインドア派ですが、人と話すことも好きです。あまり人見知りはない方なので皆さんとお話をしながら早く慣れていけたらいいなと思っております。よろしくお願いします！

森 亮太



- ①リハビリテーション科・作業療法士
- ②車・釣り・サウナ
- ③家族や友人と共通の趣味で楽しむことです。
- ④少しずつ職場に慣れていけるように頑張りたいと思います。もし、同じような趣味を持っている方がおられましたら、声をかけて下さい！

令和7年 永年勤続表彰

勤続30年 金山 利恵
 勤続25年 渡部 英子
 勤続20年 山成 幸子

勤続15年 村上 直美
 勤続10年 原 直樹
 原 佳奈子
 田部早紀子

景山 晋一
 小林 亘
 石橋莉加子
 川島友紀子

山下 結花
 吾郷 竜一
 福間 亮

勤続5年 木村 夏希
 松本宏太郎
 北野さおり
 永島 陽子
 後藤 理恵

那須 紅音
 上原かなえ
 鈴木早百合
 安野 由美
 奥板 亜希

山根 梨湖
 吉村 祐人
 藤井 瑞江
 梅木由紀子
 後田 敦実



公人会事業報告 (R6年10月~R6年12月)

※退院日は除く

延べ入院患者数=24時現在入院 延べ外来患者数=外来実日数

鹿島病院 ①外来

(診療日数65日)	1日平均患者数
延べ外来患者数	804人 12.3人/日

②病棟 2F特殊疾患病棟

(診療日数92日)	1日平均患者数
延べ入院患者数	5,222人 56.7人/日
レスピレーター装着延べ患者数	1,498人 16.2人/日
①有難症候等の重症障害	644人 7.0人/日
②重度意識障害	2,049人 22.2人/日
③神経難病	1,709人 18.5人/日
④筋ジストロフィー	0人 0.0人/日

3か月間の特殊疾患対象患者割合 81.8%
 3か月間の特殊疾患対象患者割合=1日平均対象患者数÷1日平均入院患者数

3F回復期リハ病棟

(診療日数92日)	1日平均患者数
延べ入院患者数	4,144人 45.0人/日
回復期リハ病棟対象患者割合	98.8%
平均リハ提供単位数	5.8

患者重症度指数 強化項目 リハビリ数

直近6か月間の新規入院患者 重症者の割合	100人 58.0%
直近6か月間の在宅に退院した患者の割合	87.0%
直近6か月間の重症改善率	85.0%
直近6か月間のアウトカム実績指数	51.4点

4F療養病棟

(診療日数92日)	1日平均患者数
延べ入院患者数	2,297人 24.9人/日
直近3か月間の医療区分2・3の患者割合	89.2%
直近3か月間の医療区分2・3の患者割合=レセプト実績日数	

直近6か月間の在宅に退院した患者の割合(4F全体) 82.5%

4F地域包括ケア病棟

(診療日数92日)	1日平均患者数
延べ入院患者数	2,498人 27.1人/日
A・C項目患者の割合	20.8%
平均リハ提供単位数	2.6
直近3か月間の自宅等から入院した患者の割合	22.8%
直近3か月間の自宅等からの緊急入院受入れ数	12人
直近6か月間の在宅に退院した患者の割合	81.4%

在宅サービス部

①通所リハビリ“やまゆり”

(稼働日数62日)	1日平均利用者数
通所リハビリ延べ利用者数	2,808人 36.5人/日
短期集中リハビリ実施数	834単位 10.8単位/日

②訪問リハビリ“つばさ”

(稼働日数62日)	1日平均利用者数
訪問リハビリ延べ利用者数	40人 0.6人/日
訪問リハビリ延べ単位数	86単位 1.4単位/日

③訪問看護“いつくしみ”

(稼働日数62日)	1日平均利用者数
訪問看護延利用者数(医療)	215人 3.5人/日
訪問看護延利用者数(介護)	461人 7.4人/日
訪問看護延利用者数(リハビリ)	211人 3.4人/日

④鹿島病院やまゆり居宅介護支援事業所

(稼働日数62日)	月平均策定数
延べケアプラン策定数	309人 103.0人/月
延べ介護予防ケアプラン数	182人 60.7人/月





医療法人財団公仁会中期ビジョン2022

医療・介護が一体となり、リハビリテーションを柱としたサービスを展開し、急性期病院をはじめとする医療機関・介護事業所・行政機関との連携を軸に、橋北地区の地域包括システムを支える。

<ビジョン策定の主旨>

橋北地域における地域包括ケアシステムの中核病院として、入院・外来医療と介護サービスの質の向上と継続的提供のため中期ビジョンを策定する。

<本計画の期間>

この計画は2022年4月から2025年3月までの3年間の期間とする。

1. 良質な回復期・慢性期医療

(1)回復期医療

回復期リハビリ病棟と地域包括ケア病床でのリハビリテーションのさらなる充実と、外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリとの密な連携により、地域の回復期医療を担っていく。

(2)慢性期医療

特殊疾患病棟・医療療養病床で長期入院を要する患者に対応し、地域包括ケア病床で高齢患者に準急性期医療を提供することで地域の慢性期医療を担う。

(3)質の高いリハビリテーション

リハビリ療士の数的充足のみではなく個々の療士の質的向上を図り、医療機関との交流を図る。

(4)外来・訪問診療

訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、通所リハビリとの連携で外来診療・訪問診療を一層効果的に運営する。

2. 在宅生活を支える医療・介護

(1)良質な在宅医療

患者にとって「安心を支える在宅医療」を促進するため、外来・訪問診療と訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所との連携を一層進める。

(2)良質な在宅支援サービス

外来部門、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所ならびに通所リハ、外来リハ、訪問リハが質・量ともに向上し、リハビリテーションを柱とした質の高い医療・看護を提供する。

3. 地域連携 及び 地域貢献

(1)病病連携、病診連携、地域（行政（県・市・保健・福祉・介護）、地区）連携

新型コロナウイルスによるパンデミックにより交流会など顔の見える連携の機会が開催できていない状況であるが、パンデミックが収まれば早急に意見交換会などを開催する。

(2)予防医療や介護技術を地域へ普及

地域住民への啓発活動や医療・介護関連職種に対しての勉強会等を通じて、地域に積極的に知識を還元していく。

(3)地域への情報発信

病院の機能や在宅サービス機能、治療成績、行事等についてホームページや広報誌等を活用して、積極的に情報発信を行い公仁会のブランド力を高める。

4. 医療安全・院内感染対策

(1)医療安全

医療・介護サービスを提供する全ての方へ医療安全を担保することは前提条件であり、日常から緊張感をもって業務改善に努める。

(2)院内感染対策

院内感染が起こってからの対策のみならず「発生しないための対策」「予防策をいかに取るべきか」院内感染防止対策委員会の活動だけでなく日頃からの予防教育を継続する。

5. 医療サービスの質の改善

(1)機能評価の評価に基づく継続的改善活動

2020年に日本医療機能評価機構の実施する病院機能評価3rdGV2.0を更新受審した。この結果を踏まえ診療行為の更なる向上を図る。

(2)臨床指標（Clinical Indicator）の活用

診療報酬体系がストラクチャー評価からアウトカム評価重視へ移行する過渡期の中で、当院のアウトカムである在宅患者受入れ率や在宅復帰率、リハ効率、医療区分割合、医療看護必要度、訪問診療回数などを院内外に積極的に発信していく。

(3)患者満足度向上の組織的取組み

継続的なアンケート調査を行い患者ニーズの把握に各部署務め、満足度向上のため継続的に努力する。

(4)施設・設備・環境の整備と充実

患者のQOLに資すること、並びに職員の働きやすい環境の整備を計画的に進める。

6. 人材の確保と育成

(1)人材の確保

良質な医療・介護をより向上させる為、必要人材を適時適切に確保する。

(2)人材の育成

新型コロナウイルスのパンデミックにより停滞した、研修会、研究会を計画的かつ積極的に行い、各人の一層のレベルアップを行う。

(3)働きやすい環境の整備

働きやすい環境を作り、離職防止の取組、キャリアアップサポート、福利厚生事業の充実など、魅力ある職場づくりを行う。

(4)学生の受入れ

学生実習の積極的受入れを行い職員のレベルアップを促すとともに、採用機会を増やすような取組みを引き続き行う。

7.OAを活用した業務の見直し

OAを活用し無理無駄のない業務へと見直し、省力化の一層の促進に取組む。

編集後記

あけましておめでとうございます。

年末年始は雪も降ることもなく穏やかな年明けとなりました。

ときめき鹿島は今年の新春号で90号を発行することになりました。2002年11月に創刊号を発行してから今年で23年目を迎えます。

今年も継続しているいろいろな企画を考えていきたいと思っております。本年もよろしくお願ひいたします。

広報委員会



■編集・発行・責任者：広報委員会委員長

医療法人財団公仁会 〒690-0803 島根県松江市鹿島町名分243-1
e-mail ksm@kashima-hosp.or.jp http://www.kashima-hosp.or.jp/

鹿島病院 TEL(0852)82-2627(代) FAX(0852)82-9221

訪問看護ステーション(いつくしみ) TEL(0852)82-2640

やまゆり居宅介護支援事業所 TEL(0852)82-2645

通所リハビリテーション(やまゆり) TEL(0852)82-2637

訪問リハビリテーション(つばさ) TEL(0852)82-2637

■印刷元 柏村印刷株式会社